



	V10	V9	TS2060i/TS2060	V8i(N)/V8(N)	X1
本体プログラム	Ver. 1.700	Ver. 3.600	Ver. 2.470	Ver. 2.390	Ver. 2.300 *2
OS	Ver. 1.80 *1	Ver. 5.00 *1			

\*1 アップデートするには、ストレージが必要です。

\*2 X1のアップデートプログラムはホームページからダウンロードしてください。アップデート手順は同梱の『アップデート手順書』を参照。

### 接続

- 接続可能機種追加：キーエンス KV-X500/X300 (Ethernet TCP/IP)**  
 対応機種：V10/V9/TS2060i、X1  
 接続機種：キーエンス KV-X500/X300 (Ethernet TCP/IP)
- 接続可能機種追加：キーエンス KV-X500/X300タグ (Ethernet UDP/IP)**  
 対応機種：V10/V9/TS2060i、X1  
 接続機種：キーエンス KV-X500/X300タグ (Ethernet UDP/IP)
- 接続可能機種追加：富士電機 FSZ (MODBUS RTU)**  
 対応機種：V10/V9/TS2060、X1  
 接続機種：富士電機 FSZ (MODBUS RTU)
- 接続可能機種追加：オムロン E5xC-T**  
 対応機種：V10/V9/TS2060、X1  
 接続機種：オムロン E5xC-T

### 機能

#### 1 OPC UAサーバ機能対応

対応機種：V10 (V10xxiSLPD のみ)

\* X1は①のみ対応済み

##### 【概要】

V10の特定型式でOPC UAサーバに対応しました。



以下の機能が使えます。

##### ①データアクセス機能

クライアントからのアクセスに対して、PLCデバイス/内部デバイスのデータを返します。PLCがOPC UAに対応していなくてもモニタッチを経由して読み/書きできます。

##### ②Event機能

モニタッチで発生した事象をイベントとしてクライアントに通知します。

##### ③Method機能

クライアントからの呼出で、モニタッチがマクロを実行します。

##### ④OPC UAサーバ、クライアント同時起動対応

モニタッチはOPC UAサーバとしてデータを提供するだけでなく、クライアントとして外部OPC UAサーバのデータを取得できます。

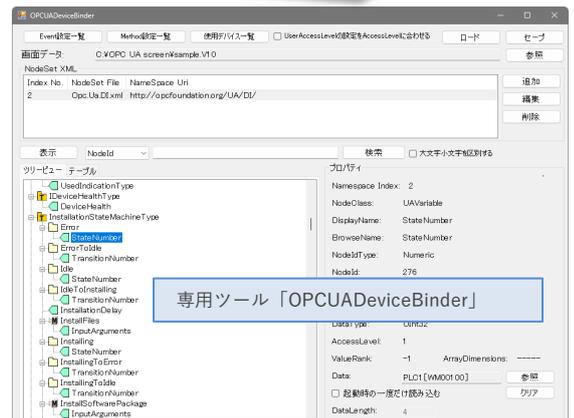
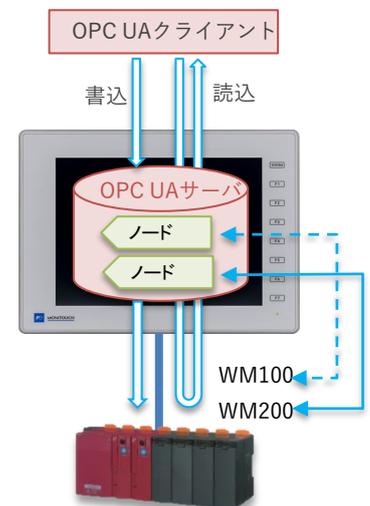
##### ⑤専用ツール「OPCUADeviceBinder」による

OPC UAサーバのノードとPLCデバイス/内部デバイスのリンク設定の対応 Nodeset XMLファイルと画面データを読みこんで、デバイスのリンクを行います。

##### 【設定箇所】

[システム設定] → [その他] → [IIoT設定] → [OPC UA(サーバ)]

\* 詳しくは『OPC UAマニュアル』参照



専用ツール「OPCUADeviceBinder」

## 2 OPC UAクライアント機能対応 \* X1は対応済み

対応機種： V10 \* OSアップデートが必要

### 【概要】

V10でOPC UAクライアントに対応しました。

データアクセス機能が使えます。

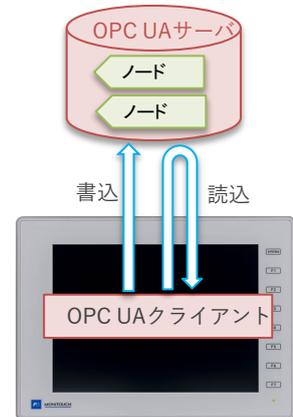
NodeSet XMLのノード情報を画面データにインポートし、パーツや設定のデバイスに、タグとしてノードを指定できます。

### 【設定箇所】

[システム設定] → [ハードウェア設定] → [接続機器]  
→ [PLC : OPC UAサーバTCP/IP (Ethernet) ]

[システム設定] → [その他] → [IIoT設定] → [OPC UA (クライアント) ]

\* 詳しくは『OPC UAマニュアル』参照



## 3 USBカメラ MotionJPEG対応

対応機種： V10

### 【概要】

「MotionJPEG」のカメラ映像表示に対応しました。

設定と、カメラの仕様が不一致の場合、情報出力デバイスに出力します。

### 【設定箇所】

[システム設定] → [ハードウェア設定] → [USBカメラ] → [エンコード]



### 【情報出力デバイス】

ビット	設定値	対応
06ビット	0：一致 1：不一致	USBカメラの仕様を確認の上、プロパティのエンコードを変更してください

## 4 拡張帳票 対応アイテム追加

対応機種： V10/V9、X1

### 【概要】

拡張帳票画面に、トレンドサンプリングを配置できるようになりました。

### 【注意点】

トレンドサンプリングのスイッチは配置不可  
データサンプリングは非対応

## 5 ローカル画面：日付時刻設定

対応機種： V10/V9、X1

### 【概要】

ローカル画面の [日付時刻設定] 画面に、  
内蔵時計 [使用/未使用] の情報を表示します。

\* 内蔵時計 [使用/未使用] の設定変更は画面データで行います。

内蔵時計未使用：PLCのカレンダーと同期する（この画面で日時変更不可）

内蔵時計使用：内蔵時計を使用（この画面で、日時変更可）



## 6 システムデバイス追加 \$s1069

対応機種： V10/V9

### 【概要】

システムデバイス\$s1069に、USBプリンタの状態を格納します。

\$s1069

0：印刷受付可能	モニター
1：印刷中 または 用紙切れなどによる動作停止	
2：印刷データ送信不可	

## 7 操作ログビューア 動作改善

対応機種： V10/V9、X1

### 【概要】

①フィルタ/ソート アイコンをデザイン変更しました。

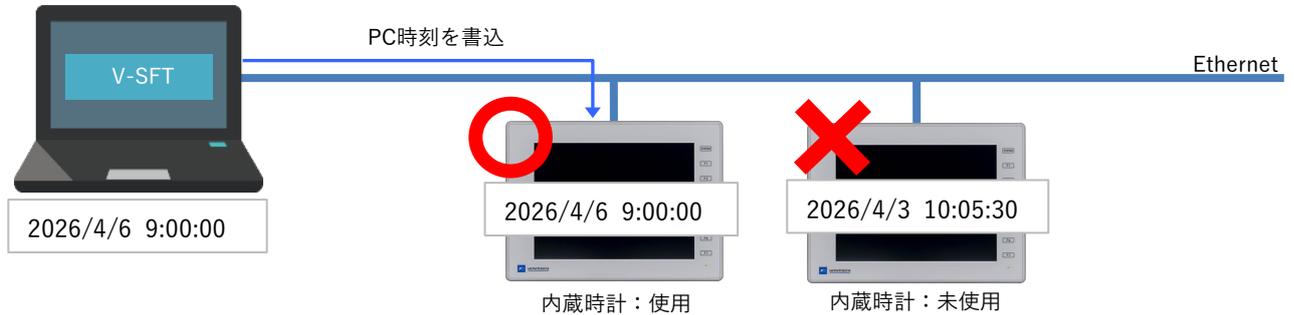
②フィルタ/ソートの状態を電源OFF時も保持するようにしました。

## 1 内蔵時計の補正

対応機種： V10/V9/TS2060、X1

### 【概要】

V-SFTから本体への画面転送時、パソコンの時刻を本体の内蔵時計に書き込みできます。  
装置立ち上げ時やメンテナンス時の時刻補正が簡単に行えます。



### 【設定】

- 画面データの [システム設定] → [本体設定] → [SRAM/時計] で [内蔵時計を使用する] を選択します。

\* [内蔵時計を使用する] を選択しない場合は、  
RUN画面切替時にPLCのカレンダーと同期するため無効です。



- [転送] → [書込] → [オプション] で [PCのカレンダーを書込む] にチェックを入れます。

- [PC→] で転送実行します



## 2 Siemens製ソフト TIA Portal インポート機能対応

### 【概要】

TIA Portal Ver.20で作成したプロジェクトファイル (\*.ap20) をインポート可能です。

\* OSアップデートが必要(V10のみ)